

様式 1 〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 8 年 7 月 3 1 日

東員町議会総務建設委員会委員長

島田 正彦 様

総務建設常任委員会 大崎 昭一

研 修 報 告 書

研修期間	令和 8 年 7 月 22 日（ 水 ） 【 1 日間】
研修（視察）先	桑名市役所 企業誘致課
目的（テーマ等）	企業誘致の取り組みについて
特記事項	

※ 目的、研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式１〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名：大崎 昭一〕

＜目的、研修概要＞

「第６次東員町総合計画」における「商工業の振興」「企業誘致」の活動に資するために隣接する桑名市の「企業誘致の取り組みについて」学ぶことを目的として研修しました。



桑名市北部地域計画図

＜内容＞

総務建設常任委員会からの６項目の事前質問について桑名市産業振興部企業誘致課様より丁寧に詳しく取り組みの現状と計画について説明を受けました。

事前質問は以下の６項目です。

- １、直近３年間で立地企業に対し２億１千万円の奨励金を交付していますが、この制度に関し内容と費用対効果についてお尋ねします。
- ２、都市計画道路桑名北部東員線沿線等で 86ha（全体で４ヶ所 161ha）の開発が予定されていると伺っていますが、規模等整備内容について具体的にお尋ねします。
- ３、１０年前、５年前、昨年度の償却資産税の増加額はどのようになっていますか。
- ４、企業のスピード感とニーズに応えるため、三重県・企業庁・電力会社・ガス会社等で「企業誘致インフラ協議会」を設立されているようですが、内容をお伺いします。
- ５、自治体の長によるトップセールスが頻繁に実施されているとお聞きしていますが、トップの姿勢、その必要性や効果などについてお尋ねします。
- ６、企業から月に２０～３０件の問い合わせがあると聞いておりますが、即応性



等具体的に企業が求められていることは何ですか。

以上 6 項目について、「計画地域の航空写真図」「企業誘致のご案内パンフレット」「企業立地支援ガイドパンフレット」を元に詳しく丁寧に説明をいただきました。

<所感>

桑名市は平成 16 年に桑名市、多度町、長島町の合併により人口 13 万 6 千人余、面積 136.65 km^2 となり、東名阪自動車道大山田 PA にスマートインターチェンジができることで「都市計画道路 桑名北部東員線」が計画され、旧桑名市北部地域と多度町東部地域の丘陵地帯を工場団地の分譲地として民間主体で計画・造成が進められています。

桑名市は、桑名市起点で 20 キロ圏内の背後人口 320 万人、事業所数 16 万、名古屋まで自動車、鉄道共に約 20 分、中部国際空港、名古屋空港、名古屋港、四日市港と陸・海・空につながる利便性バツグンのビジネスの要所としての立地条件と行政による企業立地支援制度の充実を積極的に PR、市長が国内外の企業へトップセールスに赴いています。

同時に、立地を検討する企業からの問い合わせに対しては、企業誘致課が桑名市の「最初の顔」としてワンストップサービスで対応し、成果につなげています。

また、観光・文化・人口減少対策に公民連携施策で、発展継続に向けて尽力していると強く感じました。

今回の研修成果を総務建設委員会として要約して執行部に伝え、本町のまちづくり総合計画へ向けて、政策提言ができるように取り組む必要性を痛感しました。